|  |  |
| --- | --- |
| 　平成　27年　　月　　日　　時　　分　受理 | 受付順位 |
|  |  |
| 提出者に対する質疑通告書　藤枝市議会議長　　薮崎　幸裕　様藤枝市議会議員　11番　石　井　通　春　㊞　 |
| 議案番号 | 質　　　　疑　　　　事　　　　項 |
| 第1号議案平成27年度藤枝市一般会計予算 | 消費税増税が本市財政に与える影響①昨年4月の増税によって、本市の地方消費税交付金が前年比7億5千万増の22億とされている一方で、増税の影響による景気後退の影響を直接受ける所得割部分（個人市民税）は、納税義務者数がかわならいのに5000万の減額となっている。　国税率が３％から５％になった時（平成9年）、同様に個人市民税の所得割が大きく落ち込んだ。（61億→63億→69億と推移していたが増税を機に62億→61億→58億と下降し平成17年の52億と、長期に渡っての景気の低迷でその影響は長く続いた）今回の増税はそれを上回る規模であり、更なる増税が再来年予定されているが、市税の4割を占める個人市民税が今後どのような影響となるのか。それに対する財政運営を進めていくにあたり、市民負担をかけずに対策をどう構築していくか。②市債残高が着実に減っている中で、「実質的な交付税」とされている「臨時財政対策債」の構成率が大きく膨らむ傾向がずっと続いている。これが果たして健全かというこれまでの指摘に対し、償還金は国が基準財政需要額として算定しており市の持ち出しが生まれる状況にないから進めていくという事であった。過去3年間の臨時財政対策債の起債に対し、実際どれだけ償還費として地方交付税算定となっていたか、本予算16億の起債に対し償還費として地方交付税に算定される金額の見込みはいくらか。③藤枝駅から静岡空港直行バス1800万予算（委託料1700万、利用促進100万）1. 利用需要予測をどのように立てて予算化しているのか。
2. 空港送迎バスは、大きな荷物を収納するスペース（トランク）が不可欠だが、その対応をどう考えているか。
3. 掛川駅行きは廃止、島田駅行きも一部をバスからジャンボタクシー（8人乗り）へと縮小している。こうした現状にたいしどう考えているか。
 |